



町民の思いが込められた映画「シサム」
いよいよ公開

白糠町を舞台にアイヌ民族と和人との歴史を描いた映画「シサム」が、9月13日（金）から全国で公開となります。

本作の舞台は江戸時代前期。蝦夷地と呼ばれた（現在の北海道）地域を領有する松前藩が、アイヌとの交易を行う中で起きた争いを描く壮大な歴史スペクタクルです。

本映画は、町全体がイオル（アイヌの伝統的生活空間）という考えの下、アイヌ民族と和人が共生してきたという認識を持つ白糠町で多くの場面が撮影されました。町民の皆さんもエキストラや炊き出し、セットの建設など、さまざまな形で関わっています。

また、チセ（家）のセットは、白糠アイヌ協会（天内重樹会長）が協力し、白糠アイヌ民族に関する古い文献を基に建設された、炉が二つある白糠特有の造りになっています。

町でも「ウレシバ・シラリカ」ロケツアーリズム推進プロジェクト実行委員会（高橋隆助委員長）を立ち上げ、制作に協力するなど、町一丸となって制作された町民の思いが込められた映画となっています。

主役の高坂孝二郎役に寛一郎さん、孝二郎の兄である栄之助役を三浦貴大さん、使用人の善助役を和田正人さんが演じています。他にも坂東龍汰さんや平野貴大さん、サヘル・ローズさんなど実力派の俳優陣たちが出演しています。

脚本は、ドラマ「結婚できない男」やNHKの朝ドラ「梅ちゃん先生」などを手掛けてきた尾崎将也さん。監督は「タイムスクープハンター」などを手掛けた中尾浩之さん。映画の主題歌は、中島みゆきさんの「一期一会」です。

本映画を通して、多くの方に白糠町のアイヌ文化や歴史のことを知っていただき、そして白糠町にも興味を持ってもらい町の活性化につなげられるよう、町民皆さんの応援をよろしくお願いいたします。